

栄村総合戦略推進委員会（協議事項のみ）

◆協議事項

1) 平成 30 年度地方創生推進交付金事業の評価について

- ①信越自然郷における DMO 構築推進事業
- ②苗場山麓ジオパーク推進事業

[ ①について 商工観光課 江口課長より説明 ]

宮澤会長

ありがとうございました。

まず、この商工観光課の信越自然郷における DMO 構築推進事業について、委員から質問がありましたら出していただきたいと思っております。事前に資料は配布していただいておりますので、質問のある方は手を挙げていただければ、こちらのほうで指名させていただきますのでよろしく願いいたします。

[ 「特になし」の声あり ]

宮澤会長

よろしいでしょうか。特段質問もないということですので、それでは、信越自然郷における DMO 構築推進事業は終了させていただきます。

続いて、教育委員会事務局から、苗場山麓ジオパーク推進事業ということでお願いしたいと思えます。

[ ②について 教育委員会事務局 広瀬局長より説明 ]

宮澤会長

ありがとうございました。

苗場山麓ジオパーク推進事業ということで説明をいただきました。委員の皆さんから質疑がありましたら、お願いしたいと思えます。

斉藤委員。

斉藤委員

ジオ関連ツアーの開催で、今の 4,526 人のうち、公民館を訪れた方の人数、栄村だけに来てくれた方の人数は分かかりますか。

教育委員会事務局 広瀬局長

公民館というか、絆は 2,889 名です。

齊藤委員

その2,889名の方は、みんながジオの施設を回るツアーに参加された方ということでよろしいですか。

教育委員会事務局 広瀬局長

そういうわけではないと思います。絆にジオのパネルが設置されておりまして、来た方はそちらを見てくれるだろうということで人数計算に入っているかと思われます。

齊藤委員

分かりました。ありがとうございます。

宮澤会長

ほかにありましたら、お願いします。

関澤委員。

関澤委員

現在コロナウイルスがかなりまん延してしまっていて、観光業はこの先かなり打撃があるかと思われます。今後、津南町と連携した取組を進めていくということですが、津南町だけではなくて、長野県内、例えば中信、あるいは南信の方との取組が可能なものなのでしょうか。

教育委員会事務局 広瀬局長

ジオパークですが、うちのほうばかりではなくて、ほかのところでジオパークとして認定を受けているところとの交流は深めていっております。そちらとお互い行き会ったり、認定者の交流会等もありますので、そちらのほうで交流を深めていきたいと思っております。

関澤委員

ありがとうございました。

宮澤会長

ほかの方はどうでしょうか。よろしいですか。

[ 「はい」 の声あり ]

宮澤会長

それでは質疑を終了して、協議事項1)についてはこれで終了にいたします。

今回はここで休憩を取って、委員の方々から意見等の記入をお願いしておりましたけれども、全体の時間の都合がありまして、協議事項2)が終わったところで時間を取ります

ので、お手元に新しい用紙が配られていますので記入のほうをよろしく願いいたします。

## 2) 栄村総合戦略の取組み状況及び成果について

宮澤会長

続きまして、協議事項 2) 栄村総合戦略の取組み状況及び成果についての説明をお願いしたいと思います。

[ 2) について 総務課財政係 山岸係長より説明 ]

宮澤会長

ありがとうございました。

基本目標 1 から基本目標 4 まで、全てご説明をいただきました。委員の皆さんから何か質問やご意見がありましたら、手を挙げていただければ指名しますので、よろしくお願いいたします。

斉藤委員。

斉藤委員

基本目標 1 の施策 (2) についてですが、私は道の駅で働いていますが、今年は、村外向けプレミアム付観光宿泊商品券が道の駅だけでも結構な売上がありました。それを使って村内に泊まったと思うのですが、今年はこのチケットのおかげで宿泊数が増えましたか。

商工観光課 江口課長

単年度で宿泊をやったのは、1,300 冊つくって、全部売れていなくて、700 冊が売れています。それで泊まったかどうかというと、秋のシーズンに向けて発売してしまったので、秋は黙っていてもお客が来るということで、700 冊にとどまったという感覚は持っています。以上です。

宮澤会長

申し訳ないんですが、私はこの内容がよく分からないんですが、これは要するに商品券で、どういうふうに栄村にメリットが生まれるものですか。

商工観光課 江口課長

村内に宿泊をしていただける方に、1 万円で 2,000 円分のプレミアムが付いた商品券を買っていただいて、民宿や旅館等に泊まっていたら使えない宿泊券です。1 万 2,000 円の価値はあるんですけども、1 万円しか使わなかったら、あと 2,000 円は物産館でお使いくださいと、そういった使用方法で PR したところです。

宮澤会長

ありがとうございました。

関連でもいいし、ほかのことでもいいので、質問や意見のある方はよろしくお願ひします。

桜沢委員。

桜沢委員

栄村は子育てにふさわしい村を目指しますとあるんですが、保育の無料化にはなっていないですね。それはいいことだと思います。この森宮野原にある子育て支援ルームというのは、毎日利用されているんですか。

民生課 久保田係長

民生課の子育て支援係長の久保田と言います。課長が急に私用ができませんで、代理で出席しました。よろしくお願ひします。

質問の子育て支援ルームは、基本はいつでも開いております。放課後のお子さんなり、保育園の子にはやっているんですが、そうでないお子さんで自宅にいる方も、いつでも使用していただいておりますし、また、お隣の津南町のほうからもかなり利用者があるようです。以上です。

桜沢委員

誰か専門の人がいるんですか。

民生課 久保田係長

いいえ、誰もいないです。自由に来て使っていただいているいいようになっています。使用簿とかは書いていただいて、使っていただくようになっています。

桜沢委員

どのぐらい利用されているか分かりますか。

民生課 久保田係長

すみません、数字的なものは今持っていないのですが。

宮澤会長

よろしいですか。私のほうからも今のことで意見を言わせていただきたいんですが、栄村の施策では、出生手当など、ほかの行政に比べて子育てにふさわしい村だと思っておりますが、そのメリットや、これから村営住宅も空いてくると思うので、そういうのを活用した中で、例えばシングルマザーや若い夫婦を招致する取組をホームページで呼び掛けることも、人口の社会増ということにつながると思うので、ホームページもしっかりやってもらいたいのですが、現在もホームページは、データの入替えもよくできていない中で、全然なっていないと村民も怒っていますので、ここのところ、しっかり充実していい

ただきたいと思いますのでよろしくお願いいたしますと思います。

ほかに質問のある方はお願いします。

相川委員。

相川委員

ご説明ありがとうございました。

宮澤会長のコメントで私も少し連想したのですが、幾つかほかの自治体で、婚活の際に、初婚の方だけではなくて2度目の方であったり、あるいは移住支援の際でもシングルマザーの方であったり、シングルマザーの方もどのぐらい事例があるか分からないのですが、都市部で暮らしていくのはなかなかしんどいだろうというような状況にある方を、しっかり受け止めていく施策をやっている自治体が幾つかあります。私が存じているのは、以前に働いていた島根県の例ですが、婚活でもいろいろな方に対応できるようになっており、非常に特長がある取組だと思っておりました。

そういう意味では、参考にできるような事例がいろいろな地域にきっとあるかと思えますので、もし何か情報提供等でお手伝いできるのであればさせていただきます。ありがとうございます。以上です。

宮澤会長

ありがとうございます。

ほかの委員の方からどうでしょうか。

関澤委員、お願いします。

関澤委員

基本目標1の(3)ですが、新エネルギーについての研究についてです。小水力発電、または木質バイオマス発電等の研究をしておるということですが、実現して成果があれば素晴らしいと思っています。ここ数年やってきた中で、研究段階としてどの程度まで進んでいるのか、具体的に分かれば教えていただけますか。

特命企画課 齋藤課長

特命企画長の齋藤と言います。よろしくお願いいたします。

まず、新エネルギーの関係で、うちのほうで小水力発電について検討させていただいたところでございます。1つは農業用水を利用したということで、村内何カ所かの中で一番有力だということで、トマトの国の裏の森用水、中条川から取水している用水がございます。そちらのほうで1年間流量調査等を行ったわけですが、まだ崩落土などいろいろございまして、水量が確保できないということで、水量調査は実施したのですが、事業には至らなかったという検討結果になってございます。

もう一方所、秋山地区の小赤沢川での小水力発電ということで、民間の方から村のほうにお話がございまして検討したわけですが、これについても、公共事業でやる場合結構多額な費用がかかるということで、発電量等を計算する中で、事業的に成果が上がらないという結果になったという現状です。それにつきましても、民間でやる場合については事業

費が抑えられるということですので、今、民間で検討している状況でございます。小水力については以上でございます。

宮澤会長

ありがとうございます。  
ほかの委員さん、どうでしょうか。  
斉藤委員。

斉藤委員

空き家を活用する件で、Iターン者によって空き家の活用が進んでいるということですが、空き家を活用して何か事業を興そうとしている方々に来ていただいているのか、それともただIターンの方が住んでいるだけなのでしょうか。事業としての活用はあるのでしょうか。

特命企画課 斎藤課長

令和元年は、空いた空き家に住んだということ。今まで活用というと、志久見の村営住宅にしたというのが活用事例です。

ちなみに、この1軒は協力隊が入られたということ。

斉藤委員

例えば、空き家を利用して事業者を呼び込むというのが、今、はやっていますが、そういった計画は特にないのでしょうか。

特命企画課 斎藤課長

実は、空き家の活用をするために空き家バンクをつくってございますが、今その空き家バンクに登録されているのが4軒だけです。それについてはホームページ等で公表しているわけですが、2年に1回空き家調査をやっています、今年は今やっている最中です。その空き家バンクにまず登録をしていただかないと何も事業が進まないの、意向調査といったことで調査をさせていただいている段階です。以上です。

斉藤委員

ありがとうございます。

続けていいですか。また特命課になりますが、高齢化の進展に伴う買い物弱者のことです。今回、子育て世代とおじいちゃん・おばあちゃん世代にプレミアム商品券を配っていただいたと思います。せっかくそういういい政策をさせていただいているのに、やはりお年寄りの方が車がなくて、なかなか森まで買い物に来られないという方がいて、タクシーなどを使ってよく道の駅には来てくれて話しはしているのですが、今回は台風の影響で、農協にあった栄店もなくなってしまったので、まだ調査段階ということですが、何か移動販売など、どのくらい研究が進んでいるのかというあたりを聞きたいと思います。

宮澤会長

私も同じことで、買い物弱者の対策というのは本当に待ったなしの状況です。これは研究していくというような段階ではもうないと思っていますので、例えば、希望を取って集落単位で順番に連れて行くとか、その辺はもう簡単にできそうなことなので、どんどん進めていってほしいと思います。よろしくをお願いします。

特命企画課 斎藤課長

昨年の春、3月ごろ、村内の70歳以上の一人世帯を訪問させていただいて、買い物の状況を調査させていただきました。聞き取り調査を行ったわけですが、その中では買い物についてはそれほど難儀しないといえますか、お子さんや近所、親戚の方に連れて行ってもらったりして買い物をしているという状況でございました。

今後、結構免許の返納などで車の運転ができなくなる方が多くなりますので、令和2年度から、75歳以上の方を対象に、タクシー利用補助券ということで計画してございます。これは免許を持たない方を対象ということで計画してございますので、また2年度以降、そういった形でタクシーの利用について補助を出すということでございます。以上です。

宮澤会長

ありがとうございます。

ほかに質問等ございましたら、お願いします。

なければ私のほうから。基本 目標4の(1)の保健・医療・福祉対策の関係で、人間ドックの助成ですが、栄村の大切な若者が亡くなるという事態もあったりして、健診の重要性については痛感しているところであります。健診の未受診者には、保健師が出向いて、強制的というか、説得して受けさせることも必要なんじゃないかと思えます。

また、国民健康保険の被保険者にドックの助成があることも、知っている方もいると思いますが、知らない方もかなりいると思いますので、この辺もかなりアピールしてもらわないといけないと思っていますので、よろしく願いしたいと思います。

ほかに委員の方々はどうでしょうか。

斎藤委員。

斎藤委員

観光のほうで、今年は台風の影響で秋の時期は大変だったかと思えます。今年度は、JR湯沢から秋山郷に行く無料送迎バスの運行はどうでしょうか。

秋山振興課 福原課長

秋山振興課の福原です。

今年も予算化をしており、5月から11月までと考えているところですが、今は全国的に新型コロナウイルスがあって、5月の連休はどうしようかと、もう即やらなくてはいけないところですが、悩んでいるところです。一応計画では、5月の連休、8月のお盆期間、10月と考えてはいるところです。

宮澤会長

ほかの皆さんはどうでしょうか。

もう一つ聞いてみたいのですが、目標4の「いきいきと暮らせる村づくり」の一番下に、(3) 地域文化・集落支援対策があります。集落支援対策の中で、6件の目標値なのに4件の実績しかないということですが、例えば、これは中がどうなっているのかよく分からないのですが、例えばコミュニティ助成は、1回使うとその集落は5年は使えないとかそういう話も聞きます。たぶんその5年の中にも希望の地区があると思います。これは未達なのに、順番待ちをしている集落へ回していくことをしないのか、そこら辺もお聞きしながら、それができるかできないかも含めて、分かる範囲でいいのですが、よろしくお願いします。

総務課 大庭課長

まず、コミュニティ助成事業ですが、宝くじの売り上げを原資にしております、集落の備品などの整備に対して助成が出るという内容です。非常に要望が多く、現在年に1集落ぐらいしか対象にならないといった状況になっております。

5年ぐらい前ですか、いったん受けたことのある集落につきましては、5年間受けられないといった制限ができております。1つには、宝くじの売り上げが減っているということもあって、これについては250万までの交付金なので、かなり有利な交付金で希望が多く、応えられていない状況です。基本的には、いったん受けた集落については5年間対象にならないということがあります。

それから、ふるさと復興支援金につきましては、復興のために復興基金等を利用した制度でございます。1集落500万円の事業ということで、当初5年間ということで計画いたしました。それをもう少し期限を延長しまして、現在募集しておるんですけども、30年度、令和元年度は要望がなかった状況です。

ただ、各区長会を春と12月にやるのですが、そのときにはその制度の趣旨を説明させていただいて、ぜひご利用くださいということで周知しているところですが、区長さんも1年で代わられてしまうこともございまして、なかなか趣旨がよく伝わっていないところもあります。今のところ令和3年度までの計画でありますので、このふるさと復興支援金については利用していただきたいということで、一応また4月の広報にも載せて、区長さん以外にも知っていただいてご利用いただきたいというところです。

いったん利用されたその集落につきましても、限度額に達するまでまた利用できることも改めて区長会で周知し、去年の区長会には、この集落はあとどれぐらい使えますという資料を提示しながら周知しているところでございます。現在問い合わせのある集落はあるそうなので、30年度、元年度はなかったのですが、2年度につきましてはどうなるかなというふうに考えております。

宮澤会長

ありがとうございました。

委員の皆さん、質問・意見ありましたらお願いします。

よろしいですか。



[ 「はい」の声あり ]

宮澤会長

それでは、協議事項2)の質問等がないということでございますので、ここでおおむね10分ぐらい休憩を取らせていただいて、その間に、委員の方には協議1)のそれぞれの案件ごとの評価及び意見を記入していただきたいと思います。正面の時計が今25分なので、35分までお願いしたいと思います。

では、休憩を取らせていただきます。

[ 休 憩 ]

[ 再 開 ]

### 3) 栄村人口ビジョンの改定について

#### 4) 第2期栄村総合戦略の策定について

宮澤会長

若干早いかもしれませんが、時間になりましたので再開をさせていただきたいと思えます。

続いて、協議事項3) 栄村人口ビジョンの改定について、及び4) 第2期栄村総合戦略の策定について、説明をお願いします。

[ 3) について 総務課財政係 山田主任より説明 ]

宮澤会長

ありがとうございました。

先ほどの進行で、協議事項3)と4)を一緒にしてしまいました。まず、この栄村人口ビジョンの関係で質疑・意見等をいただいて、次に移りたいと思います。まず、人口ビジョンのほうで質問・意見のございます委員の方は、お願いしたいと思います。

よろしいですか。数字のことで、それだけの出生率が出たり云々で変わってくる数字ではありますけれども、一応1,000人を目標にしたというところであります。これで進んでいってもらえたらと思いますので、協議事項3)のほうは閉じさせていただいてよろしいですか。

[ 「はい」の声あり ]

宮澤会長

続いて、協議事項4)の第2期栄村総合戦略の策定についての説明をお願いします。

[ 4) について 総務課財政係 山田主任より説明 ]

宮澤会長

ありがとうございました。

第2期栄村総合戦略の策定について説明がありました。委員の皆さんから、質問・ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

相川委員、どうぞ。

相川委員

ご説明ありがとうございました。

数値目標に絡むことではなくて申し訳ないんですけども、事前に人口ビジョンの原案と戦略のほうの原案を送っていただいて、拝読させていただきました。ありがとうございました。

両者を見ていて、実はとても面白いことに気付いたので少し報告させてください。7ページの転出予定に関する意識調査の結果です。これ単体で見ていると非常に課題が多いと思ってしまうかもしれませんが、人口ビジョンの8ページと絡めると、非常にこれは面白くて、可能性もあるデータなのではないかと思うようになりました。

人口ビジョンと関連しているデータですので比較して読んでみたのですが、5年以内に転出予定がありますという方の理由を見ると、仕事上の理由がとて多く、これは恐らく勤める年代の方、運転免許を持っていて働き盛りの方が多く回答されているのではないかと思います。

そういうことを置いた上で、先ほどご説明いただいた人口ビジョンの8ページを拝見していると、転出される方が実はとても近い距離にまとまっていっちゃるということがはっきり分かって、恐らくこれは住民基本台帳ベースのデータだと思うんですが、とても重要で、優れたデータではないかと思いました。

そう申しますのも、村外に出ていく方は、東京や名古屋のような大都市圏に吸収されてしまうわけではなくて、長野市の16人、あとは車で1時間圏内の飯山から小布施ぐらいまでを含めると18人で、加えると34人で、平成30年の県内転出者41人に占める車で1時間県内の割合が非常に高く、仕事が理由で外に出てしまうけれども、会いに行ける、あるいは帰れる距離に多くの方が住んでいることが分かっていて、実はこれは栄村だけではなくて、日本の農山村を見ていくと最近分かってきていることだと言われております。

常住人口だけを見ると、どうしても課題が多く見えてしまうのですけれども、近くに住んでいる方々を含めた栄村の応援団といいますか、出身者の方々は、結構層が厚いんじゃないかなと思います。東京に一足飛びに行ってしまうわけではなくて、週末に車で帰れるぐらいまでの距離にかなりの数の方がいらっしゃいますので、そういった方々とのつながりを何とかつくることができれば、村の中の方々だけではしんどいことも、外に出た息子、娘たちとつながって何か事を起こせるのではないかという気がいたしました。2つの資料から、私はそのように考えた次第です。

事前に送っていただいたおかげで、いろいろと分かりました。本当にありがとうございました。可能性があるデータが出ていますので、人口ビジョンと戦略を突き合わせ

てみると、思わぬ可能性が出てくるのではないかと思いました。長々とすみません。コメントというか、感想になってしまって恐縮です。以上でございます。

宮澤会長

ありがとうございます。これはご意見、提案ということで。

相川委員

意見ということです。

宮澤会長

ほかの皆さんもありましたら、お願いします。

関澤委員。

関澤委員

24 ページになりますが、今後栄村に住むに当たって、医療体制の整備はとても重要なものであると思っています。基本目標の4で、具体的施策の2「身近な医療環境を整えるため、村内診療所及び広域連携による医療体制の確保を図ります」ということで、広域連携というのは、具体的に津南町・十日町・飯山市のことを指しておられるのでしょうか。総合病院、もしくは個人病院等構わずという形で考えておられるのでしょうか。

民生課 久保田係長

課長がいないので明確な答えになるか分からないのですが、広域圏は今、飯山市や中野市との連携も取っておりまして、そこに補助金のほうも出しておりますので、そちらのほうの医療体制のことを言っております。

関澤委員

了解しました。

宮澤会長

ほかにありましたら、お願いします。

では、私からお願いします。5 ページに村民の意識調査ということで、定住、人口減少等のアンケートで、515 人に出して回収が 205 人で 39.8%、若い世代への高校生意識調査は 44 人出して回収 18 人で 40.9%ということで、かなり回収率が低いです。この辺のところ、担当の職員であったり、課長であったりするのかもしれませんが、回収率を上げるという算段はしなかったのかどうか、そこがすごく残念です。

出てきた回収率の中で見ると、満足は「自然や緑」「住民の温かさ」「食べ物の味」「治安の良さ」ということになっていて、不満足は「買物の利便性」「公共交通の利便性」ということになっています。公共交通の利便性については、会社名を言っはまざいですが、近隣の会社にそのまま歳出していると思いますが、これでこの結果とすれば、やり方がどうかと思いますので、これについては、役場の担当課からその辺のところをよろしく

お願いしたいかと思っています。

それから、10ページの若者の定住ということで、18人の回答でしかないですが、村に活気がないという回答が60%と多いです。このことについては調査や検討が必要だと思いますが、何十年か前になります、若者のグループ、ロ八丁手八丁というようなグループがあったわけで、役場の職員もほかの方々も一緒に1つのイベント等に活動した経過がありまして、そういう場づくりも必要なんじゃないかなと思っています。

例えば、雪まつりなどの運営については、全て若者のグループに任せるとか、そういったことをした中で、その辺の体験などを通して、若者が描く将来像についての話せる場もできるのではないかと思っています。

アンケートの中で、役場の職員の対応についての回答については、はっきりしたゾーンが少ない感じで、今日ご出席いただいている役場の方については、もう長年というか、村民の方々には知っている方が当然ですが、ここ数年採用された方については、村民のある程度の年齢の人に聞いても、そんな人は知らない的なことがかなり聞こえてきています。この辺の知名度というか、知らせるといふか、できるだけ村内に出向いて顔を売ってくる、名前を売ってくるというようなことも、もともと栄村の出身であれば、ある程度何々地区の何とかさんのお子さんかいみたいな話していいんだけれども、今はそうではない方もかなり入ってきています。

その辺のことも考慮した中で、例えば区長文書を月2回、第1と第3の水曜日に配布していると思いますけれども、第1水曜日の広報が出るタイミングで、役場に入った経験の浅い方々数名に地区回りをして配ってこいよと。村民の方がいたら話しをしてきなさいよ的なこともやってみてはどうかと思います。

そうすると村民も、なるほどこういう人もいるんだということも分かったり、どこの地域はこんなところに家があるということも分かって、そうしたことによって栄村全体の形、配置も分かってくると思います。なので、その辺のことも検討をいただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

あと25ページに克雪対策支援件数と書いてありますが、これは何のことを言っているのか、分かったらお願ひしたいと思います。

総務課財政係 山田主任

先ほど使用した第1期総合戦略実績一覧表をご覧いただければと思います。基本目標4の「いきいきと暮らせる村づくり」の真ん中のところにあるんですが、実施状況等ということで、雪害対策救助員、道踏み支援、克雪対策基金によるお金の貸し付け、それから屋根の改修に対して補助金を出す補助事業、こちらの4件となっております。

宮澤会長

新たにという意味ですか。もう既に何件か。

総務課財政係 山田主任

基準値の4件についてはこちらになりまして、ここにさらに付け加えていくという目標になっています。

宮澤会長

令和元年に4件で、新たに4件ということですか。

総務課財政係 山田委員

すみません、新たに2件増やしています。

宮澤会長

ほかに委員の方、何か質問ありますでしょうか。

若林委員。

若林委員。

いろいろと委員の皆さまのご意見を聞かせていただきなら、拝見させていただきました。他の市町村の総合戦略会議にも出させていただいていますが、コンパクトですが非常にきめ細やかな分析をされていて、非常によろしいのではないかと思います。また、国のほうもなかなか首都圏への人口流入が止まらない中で、新たな視点ということで、ふるさと納税の制度や、関係人口について視点を与えて、そこから将来的には移住を目指すということで、その辺を踏まえてしっかりつくられているのではないかと感じております。

また、相川副会長さんの分析の中で、東京とか大阪にすぐ移住するような傾向ではなくて、北信管内の中野市なり、中野市の方は長野市、長野市みたいな中核市から首都圏という流れになっているものですから、そういった関係人口に支えてもらいながら、よく知っている人に対してよりアプローチをされていくというのは非常によろしいかと思っておりますので、ぜひ次期計画もしっかり取り組んでいただければ、非常にいいかなと思っております。感想めいてございますが、そのようなことを思った次第でございます。ありがとうございます。

宮澤会長

ありがとうございました。

ほかの委員さん、質問がありましたらお願いします。

桜沢委員。

桜沢委員

先ほど会長さんがおっしゃったんですが、地域でもいろいろな考えを持っている方がたくさんいらっしゃると思うんです。やはり役場の職員も、地域の区長さんを交えた集落の委員会みたいなものがあると思うので、そういうところに足を運んで、小さい意見も聞いて、膝を交えた集会でのことも大きく広げて意見を取り入れてもいいんじゃないかと感じます。役場の職員は大変だと思いますが、そういう村の集会にも足を運んで、意見を聞いてもらえればいいかと感じましたので、お願いします。

宮澤会長

ありがとうございました。

ほかにございましたら、いいでしょうか。

[ 「はい」の声あり ]

宮澤会長

では、質問・意見が出尽くしたようですので、これで4) 議案までを終了させていただきたいと思います。

その他、何かありましたらよろしくお願いします。

(～2:01:15:)